



2021全日本インカレ 表彰台多数！ 4年生最後の戦いへ



体操競技
段違い平行棒 優勝 深沢こころ (体育2)



体操部 ラート団体 4連覇！
萩原沙里菜 (体育4) 5冠



男子水球 準優勝



アーティスティックスイミング
チーム競技初出場！総合準優勝

写真：各部提供

TOPICS

- 【陸上競技】インカレ 棒高跳 古澤一生 (体育1) 優勝！
走幅跳 高良彩花 (体育3) & 吉岡美玲 (体育4) ワンツー
- 【競泳】インカレ 100mバタフライ飯塚千遥 (体育3) 優勝！
- 【体操競技】インカレ 女子団体 5年ぶりの準優勝，
種目別ではあん馬・長崎終人 (体育3) も優勝！
- 【剣道】関東学生優勝大会 男女ともに優勝！
- 【硬式野球】佐藤隼輔 (体育4) 西部がドラフト2位指名
- 【特集】東京五輪・パラ特別インタビュー<後編>



関東選考会優勝！7年ぶりの全日本大学女子駅伝出場

【アメリカンフットボール】

関東大学アメリカンフットボールリーグ2部A
○筑波大 27-13 ●成蹊大
現在、1勝0敗

【弓道】

第53回関東学生弓道選手権大会北関東1部
男子団体 ※160射
○筑波大 127中-95中 ●茨城大
○筑波大 128中-80中 ●高崎経済大
現在、2勝0敗
女子団体 ※60射
○筑波大 52中-25中 ●高崎経済大
○筑波大 36中-21中 ●群馬大
現在、2勝0敗

【剣道】

第70回関東学生剣道優勝大会
2回戦 ○筑波大 5-0 ●亜細亜大
3回戦 ○筑波大 5-1 ●平成国際大
4回戦 ○筑波大 6-0 ●早稲田大
準々決勝 ○筑波大 6-1 ●東京農大
準決勝 ○筑波大 0-0 (代表勝利) ●日本大
決勝 ○筑波大 2-1 ●中央大
よって、**優勝！2連覇！**



第47回関東女子学生剣道優勝大会

1回戦 ○筑波大 5-0 ●桐蔭横浜大
2回戦 ○筑波大 4-0 ●明治学院大
3回戦 ○筑波大 2-1 ●城西国際大
○筑波大 4-0 ●日本大
準決勝 ○筑波大 3-0 ●順天堂大
決勝 ○筑波大 2 (代表勝利) -2 ●中央大
よって、**優勝！**



第60回全日本女子剣道選手権大会

川合 芳奈 (体育1) 第3位
大津ももか (体育4) ベスト8・優秀選手

【硬式野球】

首都大学野球リーグ
△筑波大 1-1 ○東海大
●筑波大 0-3 ○東海大
○筑波大 5-3 ○日本体育大
○筑波大 2-1 ●帝京大
●筑波大 2-9 ●帝京大
○筑波大 6-5 ●日本体育大
●筑波大 1-4 ○桜美林大
●筑波大 0-3 ○桜美林大
現在、3勝1分4敗

【蹴球】

第45回全日本大学サッカートーナメント
2回戦 ○筑波大 3-1 ●東京学芸大
3回戦 ○筑波大 2-0 ●桃山学院大

準決勝 ●筑波大 0-4 ○法政大
最終成績：第3位
第95回関東大学サッカーリーグ戦1部後期
△筑波大 1-1 △明治大
●筑波大 0-1 ○立正大
○筑波大 2-0 ●早稲田大
○筑波大 2-1 ●順天堂大
●筑波大 1-2 ○慶應義塾大
現在、8勝1分8敗、4位

【女子サッカー】

第35回関東大学女子サッカーリーグ戦1部後期
○筑波大 2-1 ●大東文化大
△筑波大 1-2 ●日本大
△筑波大 2-2 △東洋大
○筑波大 2-1 ●武蔵丘短期大
現在、4勝2分1敗
皇后杯第43回全日本女子サッカー選手権大会関東予選
1回戦 ○筑波大 3-0 ●順天堂大
2回戦 ○筑波大 3-0 ●つくばシティス
準々決勝 ○筑波大 1-2 ●早稲田大
順位決定戦
○筑波大 1-0 ●SEISA OSAレリア湘FC
○筑波大 2-1 ●神奈川大
よって、第5位。皇后杯出場権獲得

【柔道】

関東学生柔道体重別選手権大会

男子
100kg超級 千野根有我 (体育3) 優勝
村岡 英哉 (体育1) 第3位
100kg級 関根 聖隆 (体育4) 優勝
長谷川功斉 (体育2) 第3位
90kg級 戸高淳之介 (体育1) 優勝
阿部 拓馬 (体育4) 第2位
小畑 大樹 (体育2) ベスト8
81kg級 日野山 剛 (体育3) ベスト8
77kg級 旭 征哉 (体育2) ベスト8
66kg級 若狭 智也 (体育3) 優勝
湯本 祥真 (体育4) 第3位
60kg級 鷺見 仁義 (体育3) ベスト8
豊島 我空 (体育4) ベスト8
女子
78kg超級 米川 明穂 (体育2) 優勝
78kg級 平野 友萌 (体育1) 第3位
78kg級 都留 麻蓮 (体育4) 優勝
明石ひかる (体育4) 第2位
谷岡 成美 (体育1) 第3位
57kg級 瀧川 萌 (体育4) 優勝
52kg級 米川 藍 (体育1) 第5位
*上記選手が全日本学生選手権出場

【準硬式野球】

東都大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦(2部)
○筑波大 6-5 ●國學院大
○筑波大 5-3 ●青山学院大
●筑波大 3-5 ●日本体育大
△筑波大 5-5 △駒澤大
●筑波大 4-6 ●日本体育大
○筑波大 4-1 ●東洋大
現在、3勝1分2敗

【水泳(競泳)】

第97回日本学生選手権水泳競技大会
総合成績 男子 第11位 女子 第9位
男子
100m平泳ぎ 間島亮太郎 (体育3) 1'00'52 第4位
100m背泳ぎ 安井 健斗 (体育4) 5'57'47 第6位
200mバタフライ 小林 拓 (体育3) 1'59'07 第7位
4×100mメドレーリレー 安井(4)-間島(3)-小林(3)-島(4) 3'38'39 第6位
女子
50m自由形 込山 瞳 (体育3) 25'61 第7位

100m平泳ぎ 横田 早桜 (体育4) 1'08'17 第4位
200m平泳ぎ 高橋 奈々 (体育1) 2'29'01 第5位
100mバタフライ 飯塚 千遥 (体育3) 58'62 優勝
200m個人メドレー 横田 早桜 (体育4) 2'17'32 第8位
4×100mメドレーリレー 片桐(2)-横田(4)-飯塚(3)-土井(2) 4'09'25 第7位
4×200mフリーリレー 今村(3)-横田(4)-猪股(1)-新野(4) 8'16'51 第8位

【水泳(水球)】

第97回日本学生選手権水球競技大会
1回戦 ○筑波大 16-9 ●日本大
2回戦 ○筑波大 18-13 ●中央大
3回戦 ○筑波大 10-9 ●早稲田大
決勝 ●筑波大 10-23 ●日本体育大
よって、準優勝 *日本選手権出場権獲得



【水泳(飛込)】

第97回日本選手権水球競技大会
山田 周汰 (体育3) 男子高飛込4位, 3m飛板飛込10位
榎本 遼香 (体育学M2) 女子3m飛板飛込4位
北村 夢 (体育1) 女子3m飛板飛込10位, 1m飛板飛込7位
第97回日本学生選手権水球競技大会
山田 周汰 (体育3) 男子3m飛板飛込3位, 高飛込5位
北村 夢 (体育1) 女子3m飛板飛込10位, 高飛込8位

【水泳(AS)】

第97回日本学生選手権水球競技大会
ソロ 佐藤 友花 (体育2) 第5位
デュエット 滝宮 空未 (体育4)・佐藤 友花 (体育2) 第4位
チーム競技 ※初出場
筑波大 [滝宮・佐藤・今隈紗良 (体育1)・久田 茉莉 (体育1)] 第2位
学校対抗 筑波大 準優勝

【体操競技】

第75回全日本学生体操選手権大会
<男子1部>
団体総合 筑波大 第4位
個人総合
橋 汐芽 (体育3) 84.298 第4位
中山 怜 (体育3) 81.632 第12位
長崎 惇人 (体育3) 80.164 第21位
倉田 玲男 (体育2) 80.064 第23位
若狭 康佑 (体育4) 79.899 第24位
金子 和輝 (体育4) 79.866 第25位
松本 悠佑 (体育3) 79.731 第28位
個人・種目別
長崎 惇人 (体育3) あん馬 優勝
橋 汐芽 (体育3)
ゆか2位, 跳馬7位, 鉄棒8位
<女子1部>
団体総合 筑波大 準優勝
個人総合
深沢 ころこ (体育2) 53.398 第2位
佐藤 涼香 (体育3) 52.299 第5位

柏木 淑里 (体育2) 50.899 第15位
 矢田部清花 (体育4) 50.799 第16位
 堀 颯香 (体育1) 50.532 第19位
 坂谷りんね (体育1) 50.532 第19位
 個人・種目別
 佐藤 涼香 (体育3)
 跳馬 2位、段違い平行棒 6位
 深沢こころ (体育2)
 段違い平行棒優勝、跳馬 4位、ゆか 8位
 矢田部清花 (体育4)
 跳馬 5位、平均台 7位
 坂谷りんね (体育1) 跳馬 7位

【体操(ラート)】

全日本学生ラート競技選手権大会

団体総合
 筑波大A [萩原, 森本, 我喜屋]
 59.05点 優勝 ★4連覇!

女子個人総合
 萩原沙里菜 (体育4) 1位
 森本 朝子 (障害3) 2位
 女子種目別
 萩原沙里菜 (体育4)
 直転 1位、斜転 1位、跳躍 1位
 森本 朝子 (障害3) 斜転 2位
 我喜屋佑衣 (国際2) 跳躍 3位

【卓球】

第87回全日本大学総合卓球選手権大会・

個人の部 関東地区予選会

男子シングルス
 予選通過: 田中虹太郎 (体育4),
 佐藤 祐人 (体育2)
 男子ダブルス
 予選通過: 熊本 竜己・
 田中虹太郎 (体育4/体育4)
 女子シングルス
 予選通過: 土本日南子 (体育4),
 中田絵梨奈 (体育1)
 女子ダブルス
 予選通過: 中田 玲奈・平川 咲
 (体育3/体育3)

【男子バスケットボール】

第97回関東大学バスケットボールリーグ戦

○筑波大 81-49 ●早稲田大
 ○筑波大 96-61 ●青山学院大
 ○筑波大 89-83 ●大東文化大
 ●筑波大 58-66 ○専修大
 現在, 3勝1敗, 4位 (12チーム中)

【女子バスケットボール】

第71回関東大学女子バスケットボールリーグ戦

●筑波大 57-65 ○早稲田大
 ○筑波大 20-0 ●専修大
 ○筑波大 73-63 ●日本体育大
 ○筑波大 78-73 ●山梨学院大
 現在, 3勝1敗, 4位 (8チーム中)

【バドミントン】

関東学生バドミントン競技会 兼インカ推薦者選考会

<男子シングルス>
 ベスト8: 高上 麟龍 (体育4)
 ベスト16: 村上 正 (体育2),
 中村 舜 (体育1),
 永沼 雄大 (体育1)
 ベスト32: 杉山 潤 (体育4)
 <男子ダブルス>
 ベスト16: 森田新太郎・杉山 潤
 (体育4/体育4),
 藤澤 佳史・永沼 雄大
 (体育2/体育1)
 <女子シングルス>
 準優勝: 染谷菜々美 (体育2)
 第3位: 佐川 智香 (体育3)
 ベスト8: 栗原あかり (体育2)
 <女子ダブルス>
 準優勝: 溝口なつめ・染谷菜々美
 (体育3/体育2)

ベスト16: 大石 悠生・長廻 真知
 (体育3/体育1)
 栗原あかり・青木 もえ
 (体育2/体育1)
 ベスト32: 山下 彩海・矢島 春菜
 (体育4/体育2)

関東大学バドミントン秋季リーグ戦

男子1部
 予選リーグ ●筑波大 2-3 ○中央大
 ●筑波大 1-4 ○日本体育大
 5-6位決定戦 ●筑波大 2-3 ○早稲田大
 第6位
 女子1部
 予選リーグ ○筑波大 5-0 ●青山学院大
 ○筑波大 4-1 ●早稲田大
 1-2位決定戦 ○筑波大 3-2 ●法政大
 よって, 優勝

【男子バレーボール】

秋季関東大学男子1部バレーボールリーグ戦

○筑波大 3-0 ●東海大

現在, 1勝0敗

天皇杯全日本選手権 関東ブロックラウンド

1回戦 ○筑波大 2-0 ●ライフ/バル千葉
 2回戦 ○筑波大 2-1 ●早稲田大
 決勝 ●筑波大 2-0 ●つくばインテックSunGAIA
 よって, ファイナルラウンド (12月) 進出!

【女子バレーボール】

秋季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦

○筑波大 3-1 ●東京女子体育大
 ○筑波大 3-0 ●日本大
 ○筑波大 3-0 ●大東文化大
 ○筑波大 3-0 ●松蔭大
 ○筑波大 3-0 ●国士舘大
 ○筑波大 3-0 ●嘉悦大
 ○筑波大 3-0 ●青山学院大
 現在, 7勝0敗, 1位 (12チーム中)

皇后杯全日本選手権 関東ブロックラウンド

1回戦 ○筑波大 2-0 ●大東文化大
 2回戦 ○筑波大 2-0 ●日本体育大
 よって, ファイナルラウンド (12月) 進出!

【男子ハンドボール】

全日本学生選手権東地区シード権決定戦

準々決勝 ●筑波大 25-20 ●明治大
 準決勝 ●筑波大 19-26 ○中央大
 最終順位 4位

関東学生ハンドボール秋季リーグ戦

○筑波大 21-16 ●日本大
 ●筑波大 23-26 ○日本体育大
 ○筑波大 23-18 ●明治大
 ○筑波大 26-21 ●東海大
 ○筑波大 31-20 ●法政大
 ●筑波大 24-29 ○中央大
 ●筑波大 19-27 ○国士舘大
 ○筑波大 34-28 ●早稲田大
 現在, 5勝3敗, 3位

【女子ハンドボール】

全日本学生選手権東地区シード権決定戦

1回戦 ○筑波大 21-19 ●桐蔭横浜大
 準決勝 ●筑波大 23-19 ●国士舘大
 決勝 ●筑波大 17-26 ○東京女子体育大
 最終結果: 準優勝

関東学生ハンドボール秋季リーグ戦

○筑波大 26-19 ●桐蔭横浜大
 ○筑波大 26-17 ●早稲田大
 ○筑波大 33-13 ●日本女子体育大
 ○筑波大 30-27 ●国士舘大
 ●筑波大 23-24 ●東海大
 ●筑波大 20-32 ●東京女子体育大
 ○筑波大 32-25 ●日本体育大
 最終結果: 5勝2敗, 第3位 (8チーム中)
 *優秀選手賞 中村 歩夢 (体育4),
 特別賞 酒井優貴子 (体育3)

【フィールドホッケー】

秋季関東学生ホッケーリーグ(男子3部)

●筑波大 0-1 ○中央大
 ●筑波大 1-1 △防衛大高校
 △筑波大 1-1 △専修大
 現在, 0勝2分1敗, 4位

【ラグビー】

関東大学対抗戦Aグループ

●筑波大 7-17 ●帝京大
 ○筑波大 34-12 ●慶應義塾大
 ●筑波大 14-21 ○早稲田大
 現在, 1勝2敗, 5位 (8チーム中)

【陸上競技】

第90回日本学生陸上競技対校選手権大会

男子
 総合 27点 第10位
 3000mSC 松村 匡梧 (体育3)
 8'44"57 第3位 *筑波大歴代2位
 5000m 杉山 魁声 (体育4)
 14'02"24 第5位
 走高跳 柴田涼太郎 (体育3)
 2m10 第5位
 藤井 稜真 (体育3)
 2m10 第7位
 棒高跳 古澤 一生 (体育1)
 5m40 優勝
 やり投 堤 洸太郎 (体育2)
 70m31 第5位



3000m障害 3位 松村 匡梧 (体育3)

女子
 総合 40点 第6位
 1500m 櫻原 沙紀 (体育2)
 4'24"61 第3位
 3000mSC 櫻原 沙紀 (体育2)
 10'17"41 第8位
 走幅跳 高良 彩花 (体育3)
 6m33 優勝
 吉岡 美玲 (体育4)
 6m13 第2位
 三段跳 高良 彩花 (体育3)
 12m95 第2位
 円盤投 西山 藍那 (体育2)
 46m07 第6位
 ハンマー投 渡邊ももこ (体育3)
 58m76 第2位
 やり投 兵藤 秋穂 (体育4)
 51m30 第8位

第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選手権会

<総合成績> 各校6名の合計記録
 筑波大 1:41'21" 優勝
 *7年ぶりに全日本大学女子駅伝出場 (10/31)
 <個人成績> 5000m
 櫻原 沙紀 (体育2) 16'33"53
 西永 菜津 (体育4) 16'40"08
 高橋 香澄 (人文4) 16'43"73
 澤井 柚葉 (体育2) 16'46"97
 兵藤 梨花 (体育2) 17'09"87
 阿部 風葉 (知識3) 17'27"21

最新の
 試合結果



埼玉西武ライオンズが硬式野球部 佐藤 隼輔 をドラフト2位で指名!

筑波大学硬式野球部の佐藤 隼輔 (体育専門学群・4年) が, 10月11日 (月) に開催されたプロ野球ドラフト会議にて埼玉西武ライオンズからドラフト2位で指名されました。



ここからが勝負。

佐藤選手は, 筑波大学1年次より, 硬式野球部の主力選手として活躍してきました。2年次には大学日本代表として日米大学野球選手権に出場し, 中継ぎを務めるなど, 大学野球界を代表する投手の1人として, 高い注目を集めてきました。

硬式野球部の川村監督は, 佐藤選手について「高校時代から素晴らしい選手。1つを教えると, それを5にも10にもできる選手。4年間を通じて, 身体, 技術など, すべてにおいてスケールアップしてきた。」と評価しています。

プロ入りに向けて佐藤選手は「ここからが勝負。1年目からしっかり活躍し, 新人王を目標に頑張りたい」と力強く語りました。

ドラフト会議記者会見を舞台に, ここでしかできない経験を



ドラフト会議に伴い開催された記者会見に向け, 準備, 企画, 告知, 当日運営を, アスレチック部門と硬式野球部, 広報室が協力し開催しました。

会場には, テレビ局, 新聞社をはじめ50社余りの報道陣が訪れましたが, 非常にスムーズな進行と, 会場のホスピタリティに, ご好評を頂きました。

また, 昨年度のドラフト2020に引き続き, ドラフト実況中継の演出を「硬式野球部員」が企画し実施しました。当日のドラフト会議の実況中継の再生数は7千回を超え, 佐藤選手が指名される瞬間を多くの関係者が見守りました。

このような記者会見という機会でも, 実際に運営に携わることは, スポーツを通じた成長機会であり, さらに, 社会 (メディアやファン) と交流できる機会にもなり得ます。

筑波大学アスレチック部門では, 学校スポーツの価値創造を目指し, 様々な取り組みを実施して参ります。

佐藤選手の将来の大活躍を一同心より応援しています!

東京五輪・パラアスリートに聞く!特別インタビュー【後編】

●前号に続き、後編はこちら3名のお聞きしました!

ゴールボール 高橋 利恵子さん(障害科学学位プログラム2年)

パラカヌー 瀨立 モニカさん(体育専門学群4年)

ハンドボール 吉田 守一さん(体育専門学群3年/ボラードリーグ所属)

Q. 初の五輪・パラで戦った感想は—

吉田 子供のころからテレビで見ていた舞台に自分が立てたこと、世界を舞台に戦った自分を誇りに思います。今回は無観客での開催だったということもあり、プレッシャーを感じ過ぎずにプレーできました。

高橋 正直、初戦は本当に緊張し、自分の実力の2~3割ほどしか出せていなかったと思います。本番で実力を出すことの難しさを痛感しました。チームメイトの励ましやアドバイスのおかげで決勝トーナメントでは自分を越え、楽しむことができました。パラリンピックは本当に最高の舞台で、金メダルに届かなかった悔しさはありますが、ここで戦えたこと、メダルを獲得できたことは嬉しく思います。

Q. あなたにとって東京2020はどのようなものだった?

瀨立 高校一年生で怪我をして車椅子生活になってから、生きる希望、象徴、シンボルのようなものでした。全てをカヌー第一優先に考えて行動してきました。コロナ禍での開催ということもあり、改めてスポーツの価値について考える機会をもらったと感じています。また考え直すきっかけをもらったことで、より自分の価値やスポーツとの関わりについて自分の考えを得られたと思います。



吉田 もちろん出場するからには金メダルを目指しましたが、それと同等に世界の舞台をしっかり最高しようと考えていました。結果を残した人が大きくメディアに取り上げられることから、今回のパリ五輪では勝ちにこだわらないといけないと思います。

Q. 筑波大学へ通いながら東京2020を目指した意義は?

瀨立 授業で学んだことをすぐにトレーニングや動作に活かせることは、学生選手として本来あるべき姿であると考えています。その中で私は競技に集中するため(練習環境、人的サポート等含め)休学という選択をして競技と両立してきました。

社会に向けて何かを発信するときに、科学的且つ論理的に社会的背景を含めながら訴えかけられることは筑波大学に通っていたからこそ出来たことです。そして、学内にある研究施設を活用しながら測定して自らの競技力向上に活かせることはこの上ない幸せです。

高橋 筑波大学の多くの方々にゴールボールという競技を知ってもらえたことが大きいのではないかと思います。パラスポーツはまだまだきつかけが無ければ、知ること、体験することが難しいと思っています。大学でもこんなに注目していただけでは思っていなかったで、本当に嬉しかったです。

Q. 学業を続けながら海外リーグへの挑戦を選んだ理由は?

吉田 人としての深みを出すために知識は蓄えた方がいいと思ったからです。

Q. 自身の研究活動は競技活動へどう活かされている?

高橋 障害のある子供たちの可能性や将来の選択肢を増やしたいという思いがあります。今大会を通して、障害のある子供たちも、「こんなふうになってみたい」、「活躍できる場があるんだ」ということを感じる大会になったと思います。修士論文で取り組んでいる内容も、視覚障害の子供たちのツールとなる点字指導に関わる研究をしています。これらは、私の思いに互いに通じるところがあると感じています。



Q. 今後の目標や夢—

吉田 ヨーロッパのビッグクラブに移籍することです。

瀨立 まずは卒論を無事に提出させること!そして東京大会でメダルを獲得することが出来ず、また出直すことを決めたので、パリ大会でのメダル獲得を競技目標とします。卒業後は医師の道に進むため、競技活動とともに受験勉強をスタートします。沢山の人たちに夢や希望を与えられるような、またパラアスリートの新たなロールモデルになれるような人生を歩んでいきたいです。

高橋 競技としては、更に上を目指していきたいです。そして、ゴールボールができる環境をもっと増やし、視覚障害の人とそうでない人が互いに混ざり合って、楽しみながら、競技力を高め合えるような環境を作りたいと思っています。そのためにも、もっともっと多くの方に知っていただき、楽しんでもらえるように活動したいです。



Q. 学生の皆さんへメッセージをお願いします!

瀨立 遠くから見るエメラルドグリーン海は近くで見るとただの透明な水です。今、筑波大学という素晴らしい場所ですべてに感謝して、自らの信念をしっかり持って学生生活を謳歌してほしいです。

高橋 キャンパスライフを楽しんで欲しいです。大学では、色んな人と出会い、色んな経験を積ませていただき、悔しいこともありましたが、本当に多くの刺激をもらい、楽しんでキャンパスライフでした。この大学生活が様々な形で、競技にも色々な影響を与えてくれ、深みのあるものになったと思います。

吉田 日本のスポーツ界をともに盛り上げていきましょう!

つづきはWEBで!
コメント全文掲載中



つくばスポーツOnline

※インタビューの一部を抜粋して掲載しています。

体操競技部 全日本インカレ女子団体 5年ぶり準優勝!

全日本学生体操選手権大会(9/1~4@静岡)にて、女子団体で本学としては31年ぶりの優勝に迫る活躍をみせた体操競技部にお聞きしました。

—インカレを戦っての感想

チーム目標は「優勝争いをする」でした。順位にはこだわらずどれだけトップとの差を埋めるかというところを重視しました。トップとの差が埋まれば埋まるほど優勝に近づくことができ、おのずと順位がついてくるのではないかという考えがありました。今大会はその狙い通りに準優勝という成績を残すことができ嬉しい限り、優勝へあと少し届かず悔しくもありました。優勝校の日本体育大学までの点差は5点弱と手が届きそうなところでした。来年は確実に優勝を狙っていけると思います。(前主将・矢田部清花/体育4)



—コロナ禍で試合の延期・中止が相次ぐ中、今期チームで意識して取り組んでいたことは?

昨年から今年にかけて多くの試合が延期・中止となり例年の1年間のサイクルが崩れインカレに合わせてピークを持つてくることが難しいと感じたことが多々ありました。そこで今年はオフシーズンの冬場に練習を積み、シーズン初期に行うような練習を冬場の早い段階から開始しました。また、試合がない分練習の節目に設定される試合会などは限りなく本番に近くするように設定し、実際の試合がなくても同じような体験ができるように練習を設定し、補っていました。(前主将・矢田部清花/体育4)

—今後のチームの目標

来年の全日本インカレで優勝することです。昨年一位の日本体育大学との10点の差を、今年は5点に縮め準優勝することができましたが、その差はまだ大きいと思います。この差は部員それぞれが高い意識をもって練習に取り組んでいけば埋めることは可能だと考えています。全日本インカレで優勝するという新たな目標を掲げ、部全体で切磋琢磨しながら今後も練習に努めたいと思います。(主将・佐藤涼香/体育3)

アーティストックスイミング チーム競技初出場! 総合優勝を目指して



今年度1年生が2名加入し部員が4名となった水泳部アーティストックスイミング(AS)部門。日本学生選手権(9/18@横浜)で本学として初めてチーム競技(1組:4~8人)へ出場し、ソロ、デュエット、チームの総合で競う学校対抗では準優勝を飾った。<競技写真は表紙へ掲載>

—チーム初出場の感想と今後の目標は?

筑波大学として初めてのチーム競技出場にあたり、東京五輪日本代表の2年佐藤が全員のレベルを引き上げてくれ、最高のコンディションでインカレに挑むことができました。目指していた優勝には僅かに届かず、悔しさもありましたが、本番では最高の演技ができ、大きな達成感を得ることができました。3月で私は卒業してしまいますが、残るメンバーにはこの勢いを止めることなく、筑波大学初の総合優勝を目指して頑張ってください。(滝宮空未/体育4)

—昨夏から日本代表合宿に選出され、東京五輪(補欠選手)に参加した佐藤さん。代表チームの一員として五輪を共に戦って

五輪の舞台を目の前にしたり、会場練習を共にしたりすることで、五輪の素晴らしさを感じました。今までテレビで見えてきた試合に私も参加することができて、とても光栄でした。共に練習してきた日本代表選手や強豪国の選手たちが五輪に挑む姿勢や本番までの気持ちの高め方など、多くのことを吸収してきました。次のパリ五輪では、私も正式選手の一員として演技をし、メダルを獲得できるように頑張ります。(佐藤友花/体育2)

筑波大学スポーツサポーターの皆様(2021年9月にご寄附を頂いた皆様)

TSAでは、特定基金によるご寄附をお願いしております。支援先は、TSA全体、各運動部(44団体)、TSAトレーナーチーム、箱根駅伝復活プロジェクトからから選択いただけます。

ご寄附いただいた皆様には、感謝の意を込めてご芳名を掲載させていただきます。(ご希望者のみ)

渡邊徹様 村上ゆかり様 脇田建介様 ヘアーサロンゆうき様 安ヶ平浩様 阿江通良様
土屋真実様 野呂裕樹様 ヘリヤー万紀子様 西健一郎様 宇佐美慧様 中川知秋様(順不同)

※筑波大学特定基金につきましてはTSAウェブサイト <http://tsa.tsukuba.ac.jp/supporter/> をご覧ください。

